



研究用試薬

## ヒストファイン

### トリプシン溶液

トリプシン濃縮液 (試薬 A)

希釈液 (試薬 B)

包装 : 試薬 A 15 mL

Code : 415101

試薬 B 50 mL

製造販売元

**株式会社ニチレイバイオサイエンス**

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

#### \*1. 内容

トリプシン溶液は次の試薬から構成される。

液状。

トリプシン濃縮液 (試薬 A) 0.5%トリプシン …15 mL×1本

希釈液 (試薬 B) …50 mL×1本

#### 2. 使用目的

トリプシン処理は、ホルマリン固定したパラフィン包埋切片の免疫組織化学染色を行う際、その染色強度を増強する目的で行われる。トリプシンはペプシンより弱い処理効果が得られる。トリプシン処理に適する抗体は、ヒストファイン 第一抗体を参照のこと。

#### \*3. 使用方法

- 1) スライドを脱パラフィンし、水和する。
- 2) 内因性ペルオキシダーゼの活性をブロックする (必要な場合)。
- 3) スライドを PBS で数回洗浄する。
- 4) トリプシン濃縮液(試薬 A) : 希釈液(試薬 B)を、1 : 3 となるように調製し、十分に混和する。
- 5) 組織切片に滴下し、37℃で 10 分間インキュベートする。
- 6) PBS で充分洗浄する。
- 7) 免疫組織 (化学) 染色を行う。

注意: 免疫組織化学染色に適するトリプシンの最終濃度は、検出する抗原や固定方法などによって異なるが、およそ 0.05% - 0.25% である。

#### 4. 貯法

2-8℃で保存。

■研究用としてのみ使用すること。

2008年6月

### 包装容量減量、包装形態変更のお知らせ

この度は、(株)ニチレイバイオサイエンス ヒストファイン 補助試薬 トリプシン溶液をご購入いただきまして誠にありがとうございます。  
ごぞいます。

原料元の変更に伴い、ヒストファイン 補助試薬 トリプシン溶液の構成品であります、トリプシン濃縮液(試薬A)および希釈液(試薬B)の容量を減量致しました。また、容量減量に伴い、各ボトルについても変更致しました。性能、使用方法、貯法などその他の変更はありません。今後とも、弊社製品をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

株式会社ニチレイバイオサイエンス